

2021年3月期 第2四半期

決算説明資料

2020年11月17日

デリカフーズホールディングス株式会社
DELICA FOODS HOLDINGS CO.,LTD.

(東証1部 証券コード:3392)

Delica Foods
Group





■ 会社概要	・ ・ ・ P 3
■ 業績説明	・ ・ ・ P 9
■ 新型コロナウイルス対応	・ ・ ・ P14
■ 通期業績予測及び配当予想	・ ・ ・ P16
■ 業績の立て直しから新規事業参入へ	・ ・ ・ P18
■ Appendix	・ ・ ・ P29

当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

(本件についてのご連絡先)

デリカフーズホールディングス株式会社

電話 03 (3858) 1037

FAX 03 (5851) 1056



■ 会社概要



商 号	デリカフーズホールディングス株式会社
創 業	昭和54年（名古屋）
代 表 者	代表取締役社長 大崎 善保
証券コード	3392（東証 1 部）
所 在 地	東京都足立区六町4-12-12
資 本 金	1,377,113千円
事 業 内 容	青果物流通業
従 業 員 数 （連 結）	590名（他、臨時雇用者数 1,657名） ※2020年9月30日時点 （前期末）537名（他、臨時雇用者数 1,583名）





デリカフーズ は、業務用の **八百屋**です。

外食・中食・コンビニエンス産業に**日本全国・365日**
新鮮な野菜とカット野菜をお届けしています。

デリカフーズ は、

農と健康 を繋ぐ **創造企業**です。

日本農業の発展、国民の健康増進に貢献すべく、
青果物の新たな価値を創造する研究・提案企業です。



デリカフーズホールディングス株式会社

デリカフーズ株式会社



青果物商社



エフエスロジスティクス(株)



物流事業



(株)メディカル青果物研究所



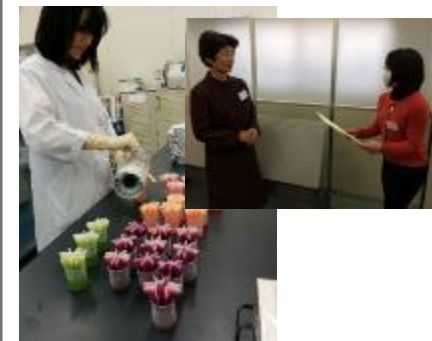
食品の分析事業



デザイナーフーズ(株)



抗酸化研究、 コンサル事業



デリカフーズ北海道(株)



青果物商社



(関連会社)
9月23日設立

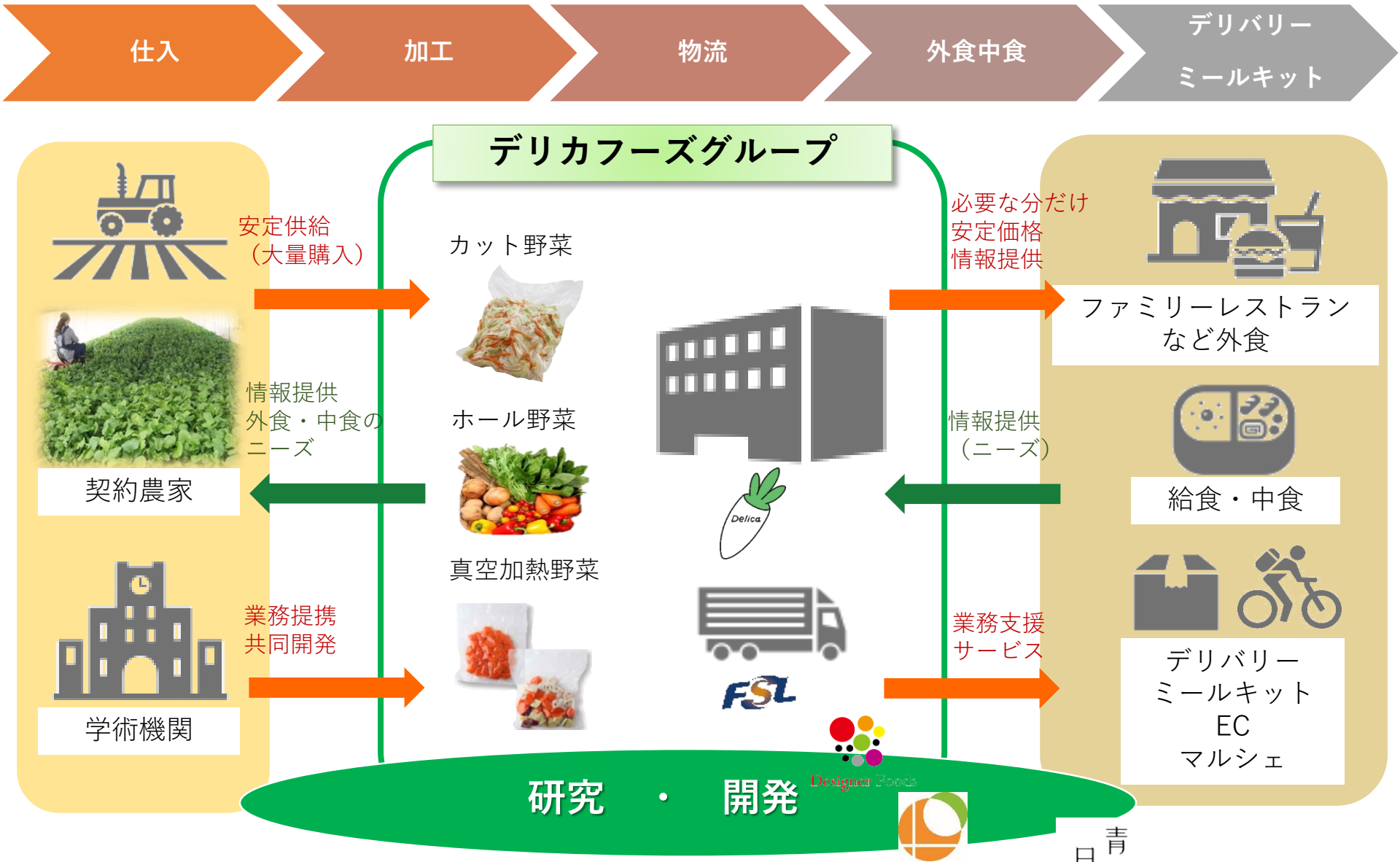
(株)青果日和研究所

青果
日和
Seika Ryouji

『青果日和』ブランドのライセンス事業
青果物通販 (BtoC、DtoC) 他

直営 16 拠点とエリア協力企業で日本全国 2 万 8 千店舗へデリバリー







業績説明



売上高：140億円

営業利益：▲13.5億円、経常利益：▲10.1億円、当期純利益：▲7.7億円

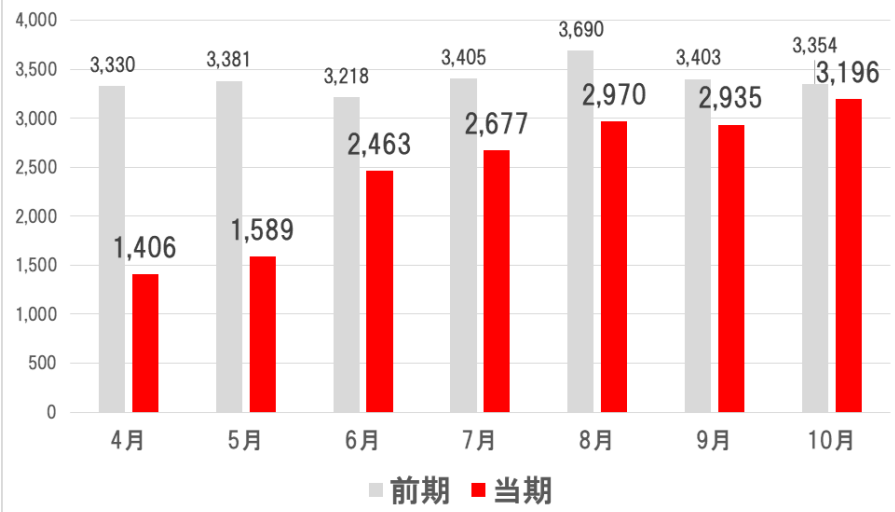
緊急事態宣言解除後、外食産業における客足の回復が見受けられたが、第1四半期での売上高減少、販売先の閉店・縮小の影響をカバーするには至らず、減収・減益。

(単位：百万円)	2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期		前年同期差異	前年同期比
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	20,429	—	14,042	—	△ 6,386	-31.3%
営業利益	342	1.7%	△ 1,354	-9.6%	△ 1,696	-496.0%
経常利益	373	1.8%	△ 1,015	-7.2%	△ 1,388	-372.0%
親会社に帰属する 当期純利益	233	1.1%	△ 776	-5.5%	△ 1,010	-432.0%
EBITDA	786	3.9%	△ 587	-4.2%	△ 1,374	-174.7%

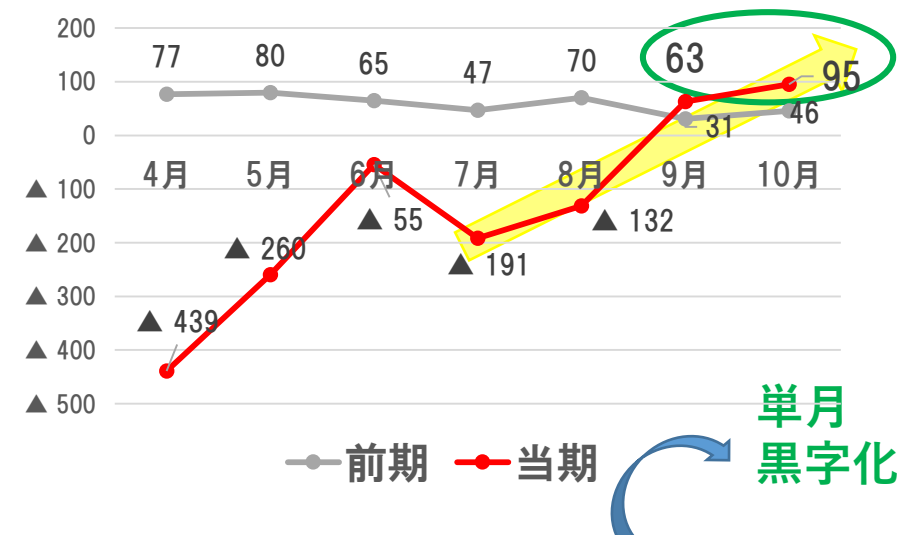
※EBITDA＝経常利益＋減価償却費



月別売上高推移



月別経常利益推移



<売上高> (単位:百万円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期累計	10月
当期	1,406	1,589	2,463	2,677	2,970	2,935	14,042	3,196
前期	3,330	3,381	3,218	3,405	3,690	3,403	20,429	3,354
差額	▲1,924	▲1,792	▲755	▲728	▲720	▲468	▲6,387	▲158
前年同月比	-57.8%	-53.0%	-23.5%	-21.4%	-19.5%	-13.8%	-31.3%	-4.7%

<経常利益> (単位:百万円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期累計	10月
当期	▲439	▲260	▲55	▲191	▲132	63	▲1,015	95
前期	77	80	65	47	70	31	373	46
差額	▲516	▲340	▲120	▲238	▲202	32	▲1,388	49
前年同月比	-570.5%	-324.9%	-84.2%	-407.4%	-187.9%	204.2%	-272.1%	206.7%

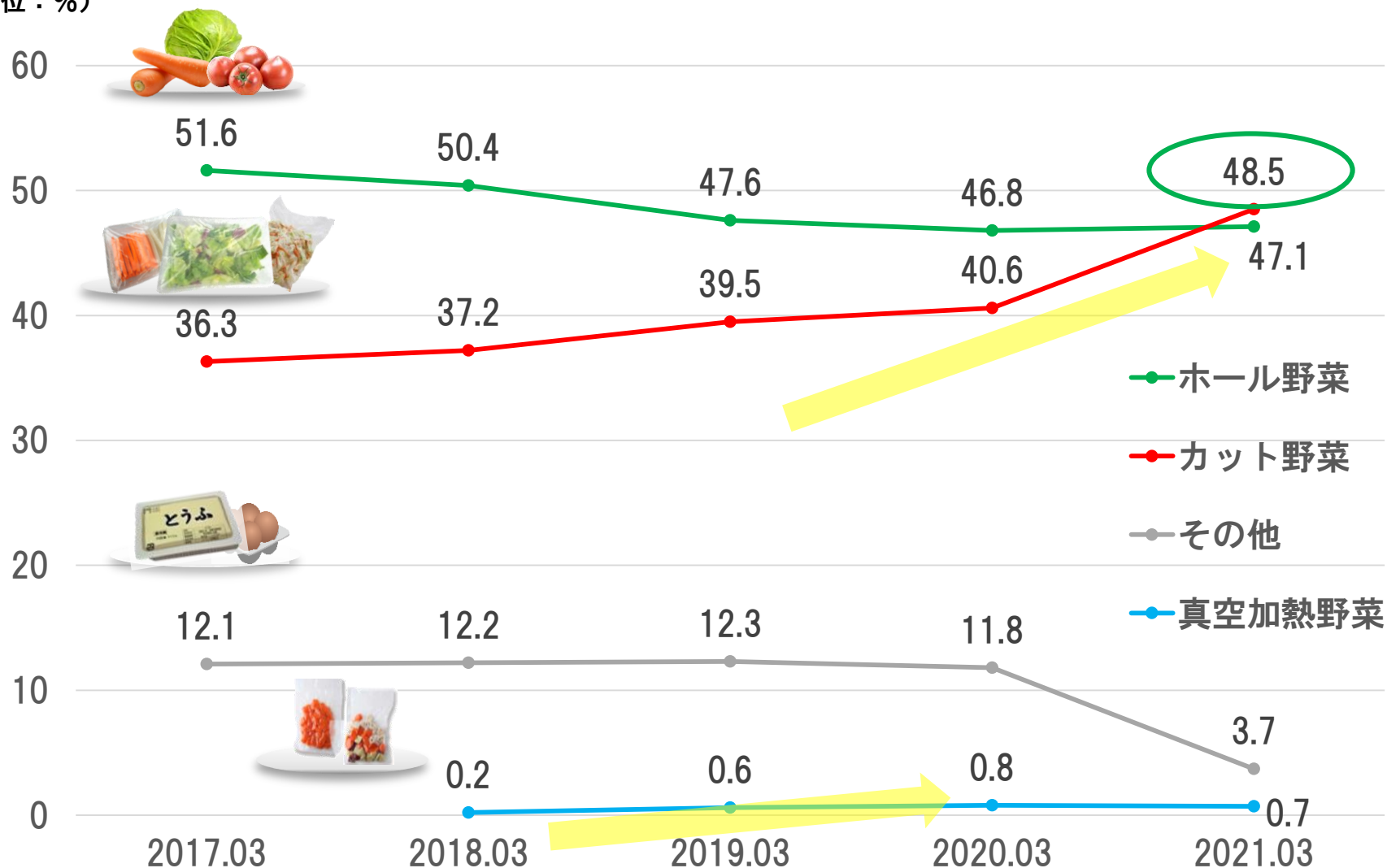
第2四半期においては、客足の回復に加え、自然災害の影響が僅少であった事、そして徹底した経費削減の実施により、売上高、経常利益ともに回復傾向。

9月単月においては、63百万円の黒字化を達成。

商品別売上高の状況（2Q累計）



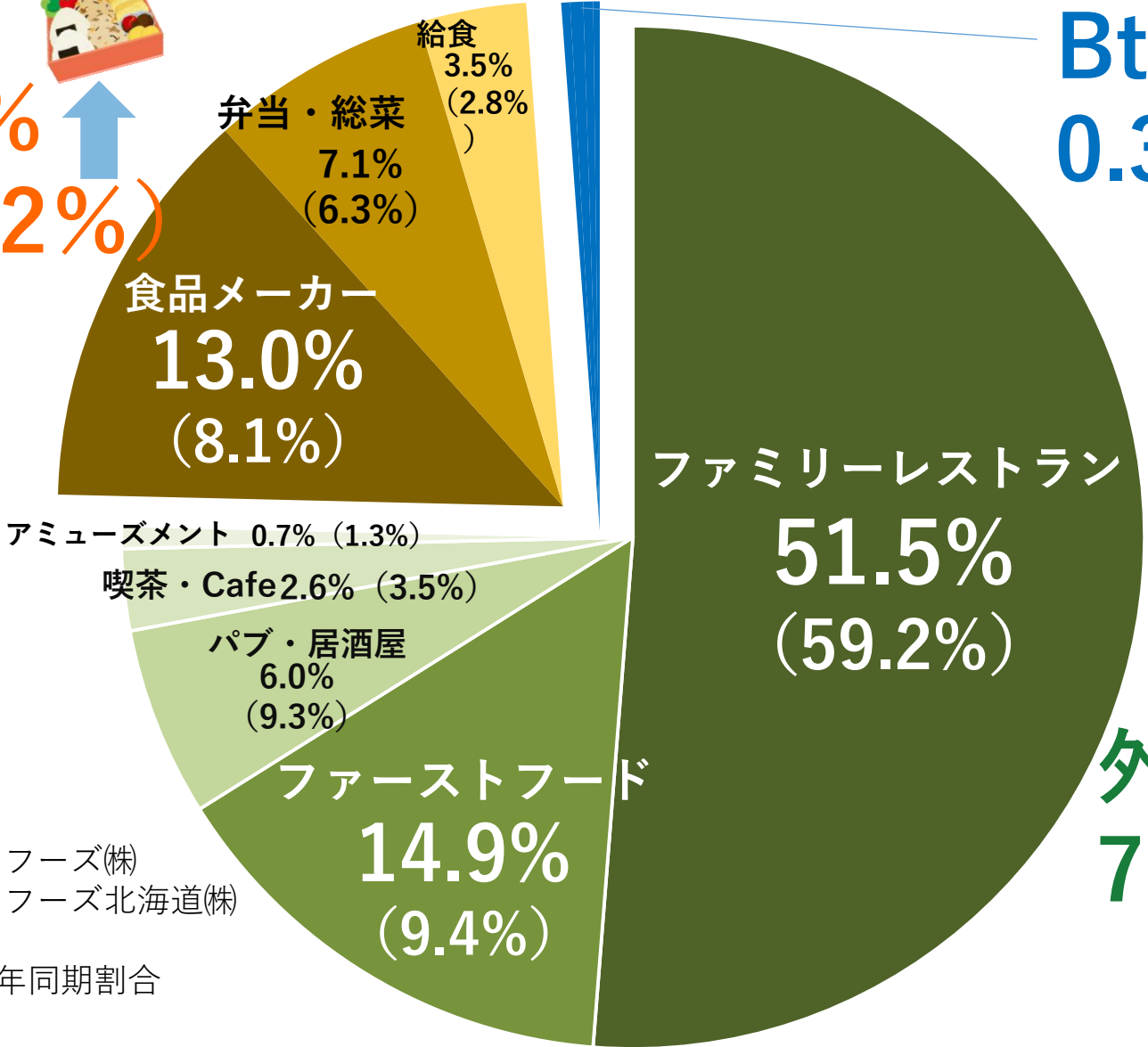
（単位：％）



中食
23.9%
(17.2%)



BtoC
0.3%
NEW



外食
75.8%
(82.8%)



対象: デリカフーズ(株)
 デリカフーズ北海道(株)

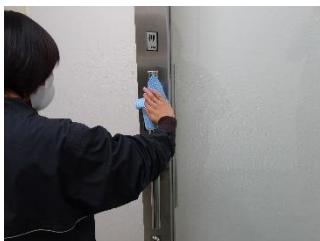
() は前年同期割合



■ 新型コロナウイルス対応



2020年1月末より新型コロナウイルス感染拡大を受け、 順次コロナ対策を講じてまいりました



- 社内へ海外渡航制限の通達
- 渡航歴の調査、帰国者の健康管理を開始
- 体調不良者の報告、問診等を弊社健康管理室が管理
- マスク着用、手洗い、換気、アルコール消毒の徹底など注意喚起
- 研修・会議等での出張を極力回避しWEB会議を推進
- 来客時の体調問診、アルコール消毒の徹底
- パート・アルバイトを含む全従業員に出勤時の体調チェック、検温を実施
- ドアノブ、スイッチなどの不特定多数が触れる箇所の定期的な消毒を開始



■ 通期業績予測及び配当予想



当期の連結業績予測につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響が当社グループ全般に及んでおり、また終息時期も見通せない状況であり、現段階において合理的に算出する事が困難であるため、引き続き未定とさせていただきます。

また、併せて配当予想につきましても現時点は未定とさせていただきます。



デリカフーズグループは
これからも全てのステークホルダーから
評価される企業を目指して参ります。

事業の立て直しから 新規事業参入へ



4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

緊急事態宣言

『ドライブスルー八百屋』実施

契約産地支援
労働の確保

新規事業
意思決定

ECビジネスの
テスト・習得

BtoC DtoC
通販事業参入

『ベジマルシェ』ブランドでのEC販売開始

青果日和研究所設立

12月15日 ECサイトOPEN





これまでデリカフーズグループが培ってきた、
ノウハウ・技術・研究開発を活かすECサイト用
ブランド。

BASEを中心に催事やイベント、コラボ企画へも
積極的に展開します。

青
果
日
和
Seika Biyori

“安心・おいしい・健康”を皆様へお届けする
『青果日和』。

『青果日和』では、野菜・果物にかこまれた
豊かで健康な暮らしを提案し、
様々な企業との連携による展開を図ります。





産直野菜と新鮮果物
ベジマルシェ

『ECサイトでの販売』



[HOME](#)
[ABOUT](#)
[CATEGORY](#)
[BLOG](#)
[CONTACT](#)
[FAQ](#)

安心・おいしい
そして健康に。

商品を一覧でみる

送料について

～プロの品質を食卓へ～

普段使いの定番野菜も
ちょっと贅沢な高級フルーツも
訳アリ・格安の限定商品も

音楽のプロが厳選した逸品をご賞味ください

おすすめ商品



マルシェ



ドライブスルー八百屋



セミナー・食育





VISION

人々の健康と、農業の成長を。

全国の青果物流通を担うデリカフーズの新しい挑戦。
農業・産地・生産者とお客様を繋ぐ。
それにより、人々の健康と、国内農業の成長に
共に参加いただくプロジェクトです。



青果 日和

Seika Biyori

『おいしい青果のある暮らし』

通 販 事 業

コ ラ ボ 事 業

定期購買・サブスク

S D G s' への取組

リ ア ル 店 舗



いつも身近にいたいから。

リアル店舗の「青果日和」

様々なシーンの傍で
親しい人たちと一緒に。
楽しい会話と一緒に。

おいしい・楽しい・健康
を提供します。





株式会社フードサプライ
株式会社リトリーブ

合併会社（株）青果日和研究所設立

社名	株式会社青果日和研究所(せいかびよりけんきゅうじょ)
設立日	2020年9月23日
代表取締役	竹川 敦史
本社所在地	東京都足立区六町四丁目12番12号
資本金	500万円
出資割合	デリカフーズホールディングス株式会社 45%
	株式会社フードサプライ 35%
	竹川 敦史 15%
	株式会社リトリーブ 5%
事業内容	・ 青果物及びその他食材の通信販売事業
	・ インターネット等を利用した通信販売システムの企画・構築及び運営
	・ 各種食品の製造、加工、保存、輸送
	・ 上記に関する各種コンサルティング 他



新型コロナウイルス感染症対策

既存事業の安定化

BtoC、DtoC事業の確立

再び成長戦略へ

Delica Foods
Group





■ Appendix



農と健康を繋ぐ創造企業

- 外食・中食産業の価値創造を見据えた経営
- 青果物の流通を通じ、農業の発展と人々の健康な生活づくりに貢献
- 社会の持続可能性に配慮した経営

環 境

E_{nvironment}

社 会

S_{ustainability}

ガバナンス

G_{overnance}

当社グループは、サステナビリティの考え方を重視したバランス経営を実践すべく、環境に配慮した青果物事業を中心とするビジネス展開、地域社会をはじめ各ステークホルダーとの関係強化、強固なガバナンス体制の構築など、バランスのとれたE S G経営を基に社会的ニーズに対応した価値創造を進めてまいります。



外食・中食産業の価値創造



品質へのこだわり
バリュエーション力



メニュー提案
お客様重視のサービス力



安定調達・貯蔵設備
青果物の安定供給力



コールドチェーン・全国物流網
青果物流通に特化した物流力

農と健康 を繋ぐ 創造企業

～食・健康・環境問題へ立ち向かうために存在～

農業の発展と人々の健康づくり



青果物の安定調達
産地サポート



農と食・健康コンサルティング
健康食セミナー

環境への配慮、社会貢献性



フードロス低
減への貢献
カット野菜



野菜屑の堆肥・
飼料化野菜
リサイクル・ループ



CO2排出量の抑制に
貢献農地拡大



新中期経営計画の公表を延期（当初5月12日発表予定）

今般の新型コロナウイルス感染拡大により、国内外経済の混乱が生じており、終息時期が見通せない状況であります。現下の状況が当社グループの事業活動に与える影響度合いについては鋭意確認中ですが、現時点では適正な情報収集は困難な状況であります。この現状を考慮し、次期中期経営計画を公表する事は投資判断に対して混乱を生じさせてしまう可能性があるかと判断し、次期中期経営計画の公表を延期させていただくことといたしました。

Delica Foods
Group

